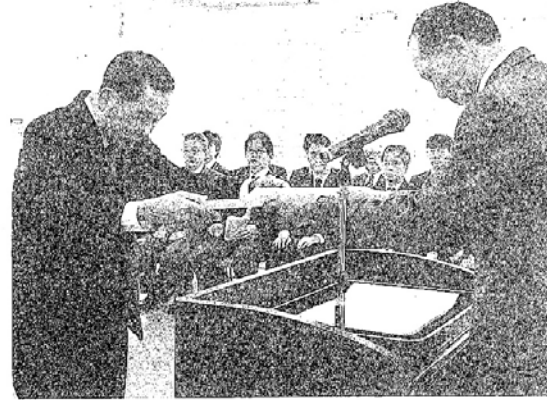


輝く迅速な災害対応

札幌開建が83者に感謝状贈る

札幌開建は19日、同開建会議室で2018年度風21号、北海道胆振東部地震による災害への支援者へ感謝状を贈呈した。



活動に協力した77社5団体1個人が対象となった。18年に北海道開発局が実施した災害復旧事業など、災害対応への尽力に感謝状を贈った。

どへの協力が認められた企業や団体に對し、宮島滋近部長が感謝状を手渡した。7月豪雨への支援協力は22社、台風21号への支援協力は26社1団体、胆振東部地震への支援協力は36社4団体1個人となった。

宮島部長は、ことしの災害について振り返り「困難な状況の中での各企業、団体の活躍が、その後の速やかな対応へとつながった。多くの市民にもあらためて建設業関係の仕事が地域を支える社会資本だと認識していただけたように思う」と伝え、「これからも良きパートナーとして、世界の北海道に向けて協力していただきたい」と期待を寄せた。

迅速な対応に謝意示す

豪雨、地震などの災害支援活動等

札幌開建が感謝状を贈呈

札幌開建は19日、開建本部庁舎で7月豪雨、台風21号、北海道胆振東部地震において災害支援活動等を行った団体および個人に對する感謝状贈呈式を執り行った。受賞したのは、工事では岩田地崎建設㈱、コンサルでは㈱福田水文セン



タリなど重複を除き77社5団体1個人。宮島滋近部長が代表者に感謝状を贈呈。災害発生直後からの迅速な対応に謝意を表した。受賞者は17日付3面掲載。ことし北海道では、7月の豪雨、台風21号、9月の北海道胆振東部地震など自然災害が多発した。

開建では、これらの災害発生時の応急復旧作業等に尽力した企業に對し、感謝

功績をたたえて感謝状が授与された

の意を表して、感謝状を贈呈することとした。

7月豪雨にかゝる災害支援活動として、岩田地崎建設や伊藤組士建㈱など22社、台風21号にかゝる災害支援活動として、㈱砂子組、㈱田中組、㈱中山組など27者、台風21号および北海道胆振東部地震にかゝる災害支援活動の協力者として、寒地土木研究所の伊東佳彦地質研究監1人が選ばれた。また、北海道胆振東部地震にかゝる災害支援活動として、建設コンサルタンツ協会道支

部、こぶし建設㈱など40者を選出した。

贈呈式では、宮島部長が感謝状を授与した。災害発生直後からの迅速な対応に「復旧の道筋をつくっていただいた」と謝意を表した。建設業に対する地域の認識が高まったとし、引き続き社会資本整備や災害復旧における協力を要請した。